

結果報告

大会名	平成26年度第66回全日本総合ハンドボール選手権大会				
競技日	12月25日(木)	試合番号	2-7	回戦	1回戦
種別	男子・ 女子	会場	枇杷島SC ・愛知県体育館		
Aチーム			Bチーム		
飛騨高山ブラックブルズ岐阜			大阪体育大学		
得点合計	小計		小計	得点合計	
17	8	前半	16	28	
	9	後半	12		
		第1延長(前半)			
		第1延長(後半)			
		第2延長(前半)			
		第2延長(後半)			
		7mTC			

【戦評】

記載者氏名

酒井 雄二郎

大阪体育大学のスローオフで始まり、序盤から8番佐々木の強烈なロングシュートを中心に試合を優位に進める。対する飛騨高山ブラックブルズ岐阜も、スピード感のある1対1とポストを絡めた攻撃でくらく。徐々にそのスピードにも慣れてきた大体大は、アグレッシブな牽制の利いた堅い守りから速攻でリードを広げ、前半を16-8で終える。後半に入り、ブラックブルズはDFシステムを変更。高いDFで両45のロングシュートを封じ込む。積極的なDFを前に攻めきれない大体大は徐々に勢いを失い、後半は一進一退の攻防が続く。しかし、最後まで素早く粘り強いフットワークでブラックブルズの猛攻を防いだ大体大が28-17で勝利を収めた。